

T2K シンポジウム'09 in Tsukuba

主催：筑波大学計算科学研究センター

共催：東京大学情報基盤センター、京都大学学術情報メディアセンター

日時：平成21年6月18日（木） 10:30～17:00

場所：つくば国際会議場（エポカルつくば）中ホール200

参加費：無料

参加登録：どなたでも参加できますが、事前の参加登録をお願いします。

プログラム

10:30～10:35 「開会挨拶」
佐藤三久（筑波大学計算科学研究センター長）

<第一部：T2Kの現状と今後> 司会：建部修見（筑波大学）

10:35～11:15 「さらなる展開～T2K連携と次期T2Kマシン～」
石川裕（東京大学情報基盤センター）

11:15～11:45 「T2Kシステム運用報告」
朴泰祐（筑波大学計算科学研究センター）

11:45～13:00 <昼食>

<第二部：T2K オープンスパコンにおけるアプリケーション実行> 司会：中島研吾（東京大学）

13:00～13:30 「地震と津波の大規模数値シミュレーション」
古村孝志（東京大学大学院情報学環・地震研究所）

13:30～14:00 「T2K-Tsukubaにおける全球雲解像大気大循環モデルNICAMの実行について」
田中博（筑波大学大学院生命環境科学研究科）

14:00～14:30 「超並列計算によるマルチスケール・マルチフィジックス心臓シミュレーション」
細井聡（東京大学大学院新領域創成科学研究科／富士通株式会社）

14:30～15:00 「原子・緩和過程を取り入れたプラズマ粒子シミュレーション」
岸本泰明（京都大学大学院エネルギー科学研究科）

15:00～15:20 <コーヒーブレーク>

<第三部：ディスカッション>

15:20～17:00 パネルディスカッション「T2Kの王手飛車取り！」
稼動後1年を迎えたT2K オープンスパコンでのアプリケーション実行とシステム運用を踏まえ、今後のペタスケールコンピューティングまでの道のりと戦略を様々な視点から議論します。
パネリスト：田中博（筑波大学）、古村孝志（東京大学）、岸本泰明（京都大学）、高橋大介（筑波大学）、片桐孝洋（東京大学）、中島浩（京都大学）
モデレータ：朴泰祐（筑波大学）